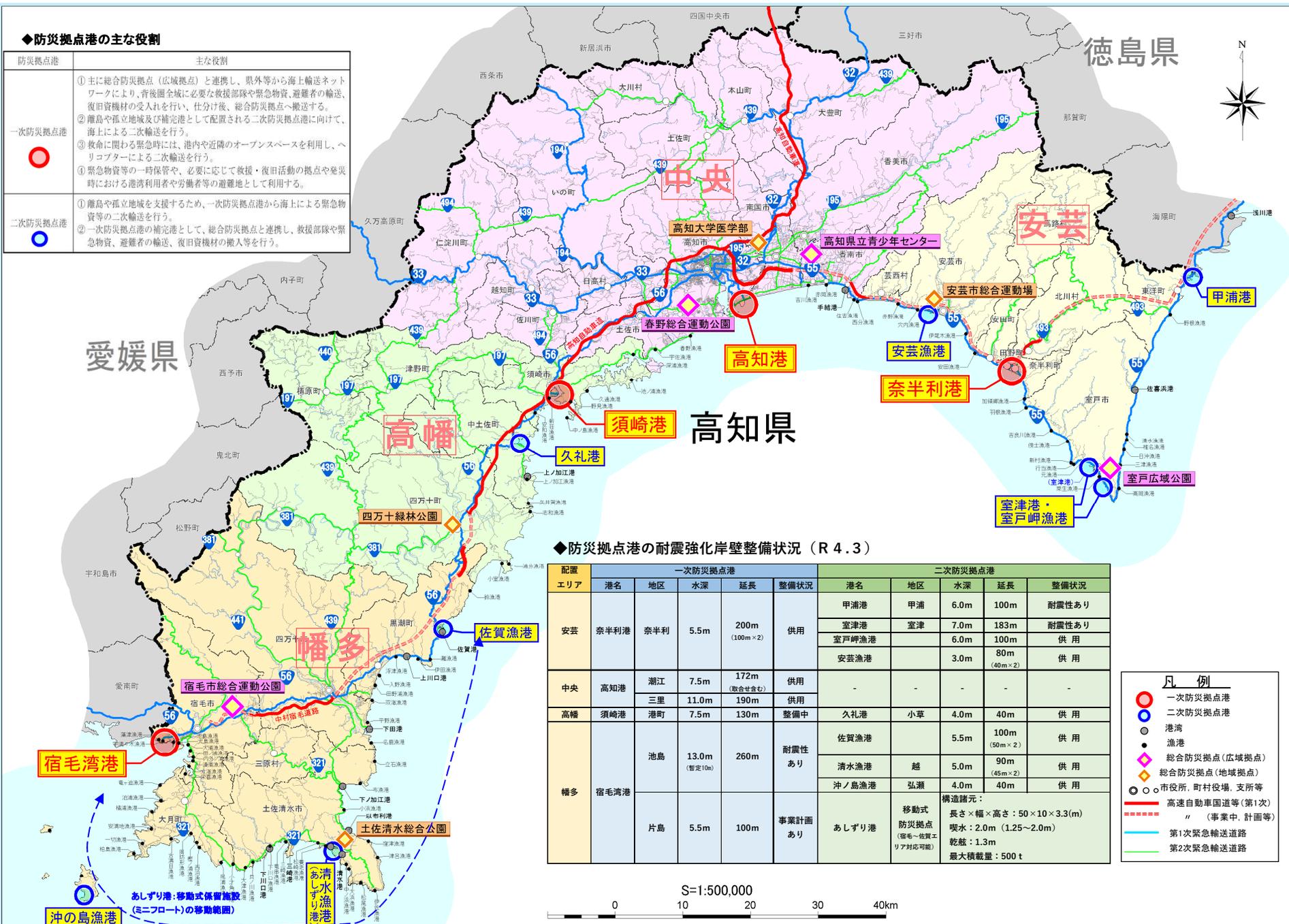


### ◆防災拠点港の主な役割

防災拠点港	主な役割
一次防災拠点港	①主に総合防災拠点（広域拠点）と連携し、県外等から海上輸送ネットワークにより、背後圏全域に必要な救援部隊や緊急物資、避難者の輸送、復旧資機材の受け入れを行い、仕分け後、総合防災拠点へ搬送する。 ②離島や孤立地域及び補完港として配置される二次防災拠点港に向けて、海上による二次輸送を行う。 ③救命に関わる緊急時には、港内や近隣のオープンスペースを利用し、ヘリコプターによる二次輸送を行う。 ④緊急物資等の一時保管や、必要に応じて救援・復旧活動の拠点や震災時における港湾利用者や労働者等の避難地として利用する。
二次防災拠点港	①離島や孤立地域を支援するため、一次防災拠点港から海上による緊急物資等の二次輸送を行う。 ②一次防災拠点港の補完港として、総合防災拠点と連携し、救援部隊や緊急物資、避難者の輸送、復旧資機材の搬入等を行う。



### ◆防災拠点港の耐震強化岸壁整備状況（R4.3）

配置エリア	一次防災拠点港					二次防災拠点港				
	港名	地区	水深	延長	整備状況	港名	地区	水深	延長	整備状況
安芸	奈半利港	奈半利	5.5m	200m (100m×2)	供用	甲浦港	甲浦	6.0m	100m	耐震性あり
						室津港	室津	7.0m	183m	耐震性あり
						室戸岬漁港	室戸岬	6.0m	100m	供用
						安芸漁港	安芸	3.0m	80m (40m×2)	供用
中央	高知港	湖江	7.5m	172m (取合せ含む)	供用	-	-	-	-	
		三里	11.0m	190m	供用	-	-	-	-	
高幡	須崎港	港町	7.5m	130m	整備中	久礼港	小草	4.0m	40m	供用
幡多	宿毛湾港	池島	13.0m (暫定10m)	260m	耐震性あり	佐賀漁港	佐賀	5.5m	100m (50m×2)	供用
						清水漁港	越	5.0m	90m (45m×2)	供用
						沖ノ島漁港	弘瀬	4.0m	40m	供用
幡多	片島	5.5m	100m	事業計画あり	あしずり港	あしずり港	移動式防災拠点 (備毛～佐賀エリア対応可能)	構造諸元： 長さ×幅×高さ：50×10×3.3(m) 喫水：2.0m（1.25～2.0m） 乾舷：1.3m 最大積載量：500 t		

- 凡例**
- 一次防災拠点港
  - 二次防災拠点港
  - 港湾
  - 漁港
  - ◇ 総合防災拠点（広域拠点）
  - ◇ 総合防災拠点（地域拠点）
  - 市役所、町村役場、支所等
  - 高速自動車国道等（第1次）
  - - - - - "（事業中、計画等）
  - 第1次緊急輸送道路
  - 第2次緊急輸送道路

